



カラーでご覧になりたい方は、錦小HP「学校だより」<http://www.ueis.ed.jp/school/nishiki/>までHPでは、学校だよりで紹介できなかった写真も掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

夏場のプール管理について

～定期的な薬剤の投入～

水泳授業の中止に伴い、錦小学校のプールは、今年度使用しないこととなりました。

プールの水は、火が発生した時のための消火用水として、常時、水を貯めておかななくてはならない決まりになっておりますが、今年度は、夏場にプールを使用しないため、夏の暑さと貯留した水の汚れによる、ボウフラ等の発生が予想されます。

そのため、本校では、市教育委員会に相談をした結果、薬剤（通常のプール管理で使用している人体等への安全性が高いもの）を定期的にプールに投入することにより、害虫等の発生の防止等、水質管理対策を行うことといたしました。

近隣にお住いの住民の皆様には迷惑にならないよう気を付けて適切にプール管理をしてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



「社会に開かれた教育課程」～錦小の教育8～



☆今年度の重点目標について☆

教職員は、教育目標達成のために全力を挙げて職務を遂行するにあたり、今年度の重点目標を設定しています。今回は、(2) 学習指導の重点目標を紹介します。

(2) 学習指導

- 単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を積極的、具体的に進める。
- 身に付けさせたい力を明確にし、授業の目標（めあて・ねらい）の提示と学習計画（見通し）の確認を行う。
- 思考力・判断力・表現力育成につながる「自分の考えを書く活動」の習慣化を図り、それを基に、「聞く・話す」など言語に係る基本的な能力・技能を身に付けさせる「説明」「話し合い」活動を充実する。
- 授業で学んだことを実感できる、身に付けるべき基礎・基本の分かりやすく簡潔なまとめと振り返る活動の実施を確実に行う。

新教育課程では、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進を求めており、本校の学校運営でもこの学習指導が最重要重点項目になります。日々の授業の中で、きちんとこれらの指導を行い、子供たちの学力向上に努めてまいります。

おじゃまします！！教室訪問 ～1の〇～

第2回目は、1年〇組です。担任は、U先生です。道徳の時間にお邪魔しました。

本時は、「ぼくのあさがお」という読み物資料をもとに、「身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接する態度を育てる」ことをねらいとして授業が行われました。

まず、先生は、授業に取り組むにあたっての心構えとして日々指導している「耳、目、心を用意してください」「机を床の赤丸の印のところに揃えましょう」ということを児童に呼びかけました。児童たちはすぐに机をきちんと並べ、姿勢よく前を見ます。普段からの指導がしっかりと身に付いていると感じました。



そして、先生は、「今日の授業では、特別なゲストをお呼びしました」と言って、あさがおの鉢を見せました。「これは先生のあさがおで、名前は、〇〇ちゃんです」と紹介すると、児童たちは大喜びで、「先生の名前と似ている」「あさがおに名前がついている」と口々に言います。道徳の導入では、本時で扱う道徳的価値（内容）について児童に興味・関心をもたせるようにしますが、実際に育てている実物のあさがおの登場で、しっかりとそれができていました。

次に先生は、児童のあさがおの観察カードを数枚提示して紹介しながら、あさがおの種をまいたときの気持ちを児童たちに発表させました。「早く芽が出てほしい」「水やりを頑張るよ」「元気に咲いてね」と児童から多くの意見が発表され、先生も、それぞれの意見に対して「そうですね。よく観察していたね」など、児童の活動の頑張りをほめたり、発言に対するねぎらいの言葉をかけたりしました。児童たちの反応がよく、多様な意見が出ます。

そうした流れに沿って、先生は、「今日は、このようなあさがおを育てるときに大切な気持ちについて考えていきましょう」と児童に投げかけ、ハート形の用紙に書いた本時のめあてを黒板に掲示しました。

次に、場面絵を見せながら、「ぼくのあさがお」という話を3つの場面に分けて読み聞かせし、『しおれたあさがおを見たときのぼくの気持ち』、『何回もあさがおに謝っているときの気持ち』、『ちいさなつぼみを触ったときの気持ち』をそれぞれ児童たちに発表させていきました。

『（元気がないあさがおに）何回も謝っているときのぼくの気持ち』の場面では、あらかじめ用意しておいた実物のじょうろを提示し、あさがおに水をあげる動作を児童にさせながら、思ったことを発表させました。児童たちは、実物を使っての学習活動なので興味をもち、多くの児童がやる気を出し、「心配だよ ごめんね」「早く元気になってね」「本当にごめんね」というように主人公に共感しながら、そのときの気持ちについて発表することができていました。

『ちいさなつぼみを触ったときの気持ち』については、実際のあさがおのつぼみをそっと触らせることで「ほわほわしている」「気持ちよい」「うれしい」「早く花になってね」「しおれていたけど、見付けた」などの発言が児童たちから出てきました。先生は、児童の発言に「なるほど なるほど」と相槌を打ち、うなずきながら児童たちの発言を大切に uptake していました。また、児童たちの発言を黒板に見やすく分かりやすくまとめていました。

それから「道徳的価値の内面化」の活動として、先生は、「今度は自分のこととして考えましょう。あさがおなど植物を育てるときに気を付けたいことは何でしょう」と問いかけ、今度は、話の内容から離れて、児童が自分事として考える活動に入りました。児童たちからは、「水やりを毎日しっかりとやりたい」「肥料などの栄養をあげたい」「植物に優しく話しかけたい」「忘れずに水やりをする」等、普段のあさがおの世話について想起しながら多くの発言が出ました。

最後に、自分のあさがおに手紙を書き、発表する活動がありました。そこでは、皆の前で発表することが苦手な児童も見られましたが、先生が児童の隣に立ち、「大丈夫だよ」と児童の気持ちに寄り添いながら優しく見守る姿がありました。

U先生は、今年度本校に異動してきましたが、英語が専門で、外国語教育主任としても活躍しています。また、特別支援学級担任の経験もあり、児童の実態に応じて細やかに対応ができる教員です。U先生とともに、1年2組の児童たちがこれからもさらにぐんぐん力を付け、より一段と素晴らしい児童に育つことを大いに期待しています。



※ 読みやすさを考え、教員の呼称は、「教諭」ではなく、「先生」とさせていただきます。

※ 地域・ホームページ用の学校便りでは、不特定多数の人の目に触れることもあるため、教職員の名前は、イニシャルにし、顔写真は、カットしております。ご了承ください。